

第102 春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成8年度開催の第72春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、平成20年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称して講演発表者を顕彰してきました。平成24年度からは、対象をアドバンスト・テクノロジー・プログラム（ATP）で実施されるATPポスター（令和2年度からイノベーション共創プログラム（CIP）ポスター）に限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、

かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3月23日（水）～26日（土）にオンラインにて開催された第102春季年会では、審査希望のあった若手研究者（40歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査しました。CIP企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった48件の中から今年度の受賞者として下記の3名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

優秀講演賞（産業） 受賞者一覧

【医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー】

- ・砂山 博文（神戸大学 大学院工学研究科・特命准教授）
P4-1vn-05「ハラルチェックのための高感度タンパク質インプリントセンシング材料の創製」

【資源・環境・GSC（Green Sustainable Chemistry）】

- ・細谷 昌弘（塩野義製薬株式会社 CMC研究本部 製薬研究所・研究員）

P3-1vn-08「テイラー渦を用いた液-液2相系フローアルキル化反応と連続晶析の統合」

【本年度のハイライト分野「マテリアル化学」】

- ・小汲 佳祐（東京都立産業技術研究センター・副主任研究員/名古屋大学大学院工学研究科・D3）
P4-1vn-10「新規メカノクロミック材料の定量的物性測定とアルコールセンシング特性を利用した感染症対策への応用展開」

北海道支部支部長賞受賞者

北海道支部

北海道支部では支部活性化と化学の奨励を目的に、平成3年より北海道内高専生の成績優秀者を対象に「支部賞」、平成15年度より支部で活躍する若手研究者の研究活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞」と北海道内の高校生化学系クラブ活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞（高校生活動の部）」、また平成18年度より支部研究発表会にて優秀な発表を行った日本化学会学生会員を対象に「北海道支部優秀講演賞・優秀ポスター賞」の計4賞を制定し、毎年顕彰しております。さらに平成20年度より「化学グランプリ北海道支部長賞」を制定し、全国化学グランプリにおいて優秀な成績を修めた北海道内の参加者を対象に顕彰をしております。

このたびは上記5賞について、2021年度受賞者が以下の方々および団体に決定したことをお知らせします。

■北海道支部奨励賞（支部若手研究者）

磯野拓也（北大院工）、NGUYEN Thanh Mai（北大院工）、高野勇太（北大電子研）

■北海道支部研究奨励賞（高校生活動の部）（北海道内高校生化学系クラブ）

函館大学附属柏稜高等学校理科研究部、北海道旭川東高等学校化学部

■北海道支部賞（北海道内高専生）

石丸北都（旭川高専）、浅野美月（苫小牧高専）、池田知尋

（函館高専）

■北海道支部優秀講演賞（日本化学会学生会員）

芦谷万葉（北大院総化）、井田南加（北大院生命）、李 采訓（北大院総化）、鄭 樹基（北大院総化）、都出卓人（北大院総化）、村田千夏（北大院環境）

■化学グランプリ北海道支部長賞（北海道内中高校生）

竹田真翔（札幌開成中等教育）、好井 蓮（北海道北見北斗高）（敬称略）

東北支部支部長賞受賞者

東北支部

東北支部では、支部の活性化と化学奨励を目的として、工業高等専門学校化学系の学生および工業高校、高等学校理数系学科の生徒を対象に、各年度卒業時において人物および学業成績が優秀な方に対し、支部長賞を授与しております。

このたび、令和3年度の受賞者として下記の方々を選出し授与いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名（学校名）をご報告いたします。